

安全・安定運行に向けた 各種施策を推進していきます。



東京地下鉄株式会社
代表取締役社長

山村明義

平素より東京メトロをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

東京メトロは、東京都区部を中心に9路線195.1kmの地下鉄を運営する首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う企業です。一日742万人のお客様にご利用いただいている弊社にとって、輸送の安全の確保は最も重要な使命です。2000年の日比谷線列車脱線衝突事故のような事故を二度と起こさないよう、当該事故はもとより、過去の事故を教訓とした安全対策を実施することはもちろんのこと、事故を未然に防ぐ予防保全に力点を置き、輸送の安全水準の維持・向上に取組、安全を最優先とする安全文化の構築に努めています。

本報告書は、2017年度の弊社における輸送の安全の確保に関する取組や鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。

2017年度については、全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、安全性向上の取組として、東京メトロ全路線全駅のホームドア設置計画を確定しました。そのほか、駅構内における「見守る目」の強化として、警備員の増配置、駅社員等によるお声かけ、全駅社員によるサービス介助士の取得といった各種施策を進めています。

また、東京メトログループ全役員・全社員が2年で

1巡をする安全研修が完了しました。これは日比谷線列車脱線衝突事故を心に刻み、安全意識の高い企業風土を構築するものであり、2018年度は、さらなる安全意識の向上を図るため2巡目の安全研修を開始しました。

東京メトロは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)を務めています。ホームドア整備の前倒しやバリアフリー設備整備に取組、世界トップレベルの安心でお出迎えし、円滑な大会輸送を推進していきます。さらに、その後の東京と東京メトログループの発展のために、自らの仕事と行動に責任感と使命感をもって、期待される役割をしっかりと果たしていきます。

2018年度は中期経営計画の最終年度となります。「安心の提供」として自然災害対策の推進、ホームドアの整備をはじめとする鉄道の安全・安定運行に向け積極的に取組、さらなる安全の確保に努めていきます。

本報告書の内容や弊社の安全への取組についてのご意見、ご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

2018年9月